

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実績一覧

補助・単独	交付対象事業の名称	所管	【計画申請時】										【実績】													
			事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	経済対策との関係	A 総事業費	B 補助対象事業費	C 国庫補助額				D 交付対象経費	E 起債予定	F その他	G 補助対象外経費	事業始期	事業終期	令和2年度 決算額 (円)	国庫補助額 (円)	交付金充当 額【A】	起債額 (円)	その他 (円)	(継続事業の場合) 令和3年度 決算見込額 (円)	うち、交付金 充当額 (円) 【B】	交付金 充当額合計 (円) 【A】+【B】	事業実績	効果検証
							国庫補助額	交付対象経費	起債予定	その他																
					1,227,329	1,227,329	35,706	1,079,117	-	-	112,506	-				998,724,384	30,691,000	853,130,000	7,690,000	107,213,284	100,477,300	100,476,000	953,606,000			
1	新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金		①感染症の拡大を防止するため、三重県が行う緊急事態措置による休業要請・依頼に全面協力いただける中小企業・小規模事業者(個人事業主を含む)に対して、三重県・名張市が協議して協力金を交付する。 ②名張市が行う緊急事態措置による休業要請・依頼に全面協力いただける中小企業・小規模事業者(個人事業主を含む)に対して、県・市町が協議して協力金を交付する経費。 ③400件×500千円=200,000千円(県1/2、町1/2負担) ④三重県からの請求に基づき、市負担分を県に納付	Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	200,000	200,000		100,000	-	100,000			R2.4.20	R2.5.6	181,500,000		89,493,000		92,007,000			89,493,000	■県内事業者 335件 県外事業者 28件	83,750,000円 5,743,303円	多くの事業者が三重県からの休業要請等にに応じていただくことで感染症拡大防止に大きな効果があった。	
2	うまいもん地元応援事業		①新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言により影響を受けた飲食店で使用できるプレミアム付商品券を名張市工芸館所が発行するにあたり、商品券のプレミアム相当分を補助し、市内経済の活性化を行う。 ②名張市工芸館所への当該事業に係る経費を補助金として交付する。33,000千円 ③プレミアム補助 @2千円×15,000冊 事務費(商品券印刷費、食費手数料、宣伝広告費、チラシ、のぼり等) 3,000千円 ④名張市工芸館所	Ⅲ-2. 地域経済の活性化	33,000	33,000		33,000	-	-			R2.6.1	R2.7.15	32,422,400		32,422,000		400			32,422,000	■プレミアム補助 @2千円×14,771.2冊=29,422,400円 ■事務費 3,000千円 □利用可能加盟店 143店舗		5,000円(自己負担3,000円+プレミアム2,000円)の商品券が14,770冊、73,850千円が購入され市内の経済の活性化に一翼を担うことができた。 飲食店からは、常連さんの来店数の増加や、常連さん以外の来店などがあり、売り上げ増加に繋がったとのことであった。 市民の声としては、普段より豪華な食事を楽しんだり、行ったことのない店舗に行きつけとったとの声があった。 事業者、市民双方にとって有意義な事業であった。	
3	病院群輪番制二次救急医療体制支援事業		①伊賀地域における病院群輪番制二次救急医療体制を維持するため、発熱等症状のある救急患者を受け入れるための体制整備(発熱等のある患者に対応する従事者の増員等の措置、院内感染防止のための設備対策等)について、輪番を担う民間病院へ支援を行う。 ②伊賀地域の病院群輪番制二次救急医療を担う民間病院へ交付。 ③民間病院救急 年間161枠×189,000円×1/2=15,215千円 名張市、伊賀市の人口比率により両市にて負担。 ④伊賀地域の病院群輪番制二次救急医療を担う民間病院	Ⅰ-3. 医療提供体制の強化	15,215	15,215		7,035		8,180			R2.4.18	R3.3.31	10,041,000		4,642,000		5,399,000			4,642,000	伊賀地域における病院群輪番制二次救急医療を担う民間病院への支援策として、発熱等のある救急患者を受け入れるための体制整備に係る経費について、名張市が事務局として伊賀市から分担金を受け、負担金を支出した。 積算根拠は、県の補助対象事業の病床確保に要する経費の基準単価を準用し、輪番当番稼働を要した額を支出した。 負担金額：2,444千円(52,000円×47枠)+7,597千円(71,000円×107枠)=10,041千円	民間病院の輪番当番日に、発熱等のある救急患者を受け入れるための体制を整備したことにより、伊賀地域における二次救急医療体制を維持、継続することができた。		
4	GIGAスクール構想実現事業		①災害や感染症の発生等による学校の臨時休業等の緊急時においても、ICTの活用により全ての子どもたちが学びを保障できる環境を実現するため、市内小中学校の全ての児童生徒分のタブレット端末を整備する。 ②国庫補助対象外となる1/3分の端末購入及び保守に係る経費 ③<整備台数5,988台>うち国庫補助対象台数3,992台、市単分1,996台 【導入経費】<補助対象外1,996台のうち、69台は整備済みのため、1,928台が市単分となる。> (端末機本体)@45,000円×1,928台=86,760,000円 (ケーブル、アダプタ、ネットワークプリンタ)3,620,000円 【運用費用】5,920台分(整備済み68台分を除く。) (保険料)@2,000円×5,920台×3/12月分=2,960,000円 (保守委託)@4,500円×5,920台×3/12月分=6,660,000円 計100,000千円 ④-	Ⅰ-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	100,000	100,000		100,000	-	-			R2.5.28	R3.3.31	90,289,730		90,289,000		730			90,289,000	(端末機本体)@44,957円×1,928台=86,677,096円 (ネットワークプリンタ)@42,570円×19台=808,830円 (HDMIケーブル・USBメモリ・ネットワークプリンタ)1,713,470円 【運用保守委託料】 コロナ感染更新作業99,990円 端末年次更新作業495,000円 端末設定業務委託495,000円	国の示した標準仕様書に準じた児童生徒一人一台のキーボード付きタブレット端末を整備することで、国が掲げるGIGAスクール構想の実現することができた。 遠隔で学習した子どもの教材を出力させるネットワークプリンタも、校務業務PCに学習データを移動させるUSB等の一体的整備もおこなった。合わせて運用保守委託をおこなうことで、新型コロナウイルス等による臨時休業に際しても、遠隔授業の実施が可視となり、子どもの学びを保障することができるようになった。		
5	観光消費喚起緊急対策事業		①- ②- ③対象者：名張市県限定先着300人(男込・宿泊200人、日帰り100人) 補助額：宿泊を伴う利用の場合 2/3かつ上限12,000円 日帰りの利用の場合 1/2かつ上限5,000円 その他、当該事業PRのための委託料 322千円	Ⅲ-2. 地域経済の活性化	3,222	3,222		3,222	-	-			R2.5.28	R2.11.30	3,003,298		3,003,000		298			3,003,000	・市内観光を行い、その内容や魅力を自身のSNSを活用し情報発信を行った市民に対し、市内観光に要した経費の一部を補助した。 【日帰り利用】経費の1/2かつ上限5,000円 補助金交付対象者数 152人 【宿泊利用】経費の2/3かつ上限12,000円 補助金交付対象者数 195人 ・本事業を通じてSNSを始める方に、SNSの使用方法等について個人サポートを実施 16件 ・市内旅行プランを作成し市民に紹介 8プラン	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により低迷していた市内観光産業の経済回復の一助として、市民の市内での観光消費を促すことができ、非常に効果的な市内観光消費喚起を実施することができた。利用した市民から高い評価を受け、市民が市内観光するきっかけづくりができた。 補助金額 2,684,298円 観光消費額 4,742,222円(補助金額の176.67%) 合わせて、観光需要の完全回復期に向けた反転攻勢のためのSNSによる情報発信体制を構築することができ、現在も市民による本市の魅力発信を継続している。 インスタグラム「#名張感動」投稿数 4,227件(12月9日現在)		
6	地元産食材活用支援事業		①- ②- ③学校給食に活用する伊賀牛等地産品を購入する費用 ④-	Ⅲ-2. 地域経済の活性化	1,545	1,545		1,545	-	-			R2.7.9	R2.7.29	1,445,040		1,445,000		40			1,445,000	伊賀牛(133.8kg)の提供 提供先：市内14小学校	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により和牛の枝肉価格が低迷し、地元伊賀牛の生産者の農業所得にも影響を及ぼしている中、地元産産材を購入し活用し消費促進を図るとともに、地産地消の取組につながっている。		

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実績一覧

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	所管	【計画申請時】											【実績】													
				【事業の概要】 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	経済対策との関係	A 総事業費	B 補助対象事業費	C 国庫補助額					D 交付対象経費	E 起債予定額	F その他	G 補助対象外経費	事業始期	事業終期	令和2年度決算額（円）	国庫補助額（円）	交付金充当額【A】	起債額（円）	その他（円）	（継続事業の場合）令和3年度決算見込額（円）	うち、交付金充当額【B】	交付金充当額合計【A】+【B】	事業実績	効果検証
								国庫補助額	交付対象経費	起債予定額	その他	補助対象外経費																
7	単	避難所における感染症対策事業		①災害時に開設する市の指定避難所において、避難者が安全で安心な避難所生活を送れるよう、衛生環境を整え、感染症の拡大防止対策を講じるために必要となる資機材を整備する。 また、災害時において感染防止対策を講じながら、市民啓発本部を運営するために必要となる資機材等を整備する。 ②市内指定避難所62か所及び市民災害対策本部に設置する感染症対策のために必要となる資機材などの購入に係る経費 ③寝具購入費55,558千円 （開仕切り29,234千円、発電機15,444千円、コードリール1,030千円、投光器3,409千円、サーキュレーター492千円、寝具収納庫等5,949千円） 消耗品費5,373千円 （感染防止対策キット972千円、段ボール19,957千円、段ボールベッド2,118千円、サージカルマスク2627千円、手指消毒液650千円、非接触型体温計等49千円） ④名張市	I-1. マスク・消毒液等の確保	60,931	60,931		60,931						R2.6.8	R3.3.1	60,917,949		60,917,000			949			60,917,000	・開仕切りパーテーション:560張 ・パーテーション(扉付):240張 ・発電機:104台 ・コードリール:104台 ・投光器:208台 ・サーキュレーター:56台 ・資機材収納庫:52戸 ・感染防止対策セット 防護服セット(防護マスク等)300セット 使い捨て手袋(M/L):各30箱(100枚/箱) 使い捨てキャップ:30箱(100枚/箱) ・簡易ベッド:300台 ダンボールベッド:150個 アルミベッド:100台 マスク:30,000枚 手指消毒液:160個 非接触型体温計:30台	避難所を運営する上で、新型コロナウイルス感染症を含む各種感染症対策は重要事項であり、マスク、手指消毒液及び感染予防セット等を整備することにより、安全で安心な避難所運営が可能となっている。 加えて、市指定避難所に備蓄収納庫を設置し、資機材を配備することにより、避難所開設時における迅速な初期対応をとることが可能となっている。	
8	単	宿泊施設経営継続支援事業		①新型コロナウイルス感染症の感染拡大により今後の経営継続に大きな影響を受けている市内観光産業に対し、市民に遠く離れた観光地では訪れることが困難な観光地を確保するため、市民が市内宿泊施設に宿泊した場合に、その宿泊に係る費用から割引した額の補助(補助金交付)を行うことにより、市内宿泊施設の消費喚起を促進する。 ②割引額に対する補助金、割引クーポン作成に要する経費、その他当該事業に係る経費 ③対象者:名張市民、クーポン枚数500枚 補助額:1枚あたり宿泊に係る費用合計の1/2かつ上限4千円、<補助金>4,000千円 クーポン印刷製本費17千円、クーポン郵便料46千円、チラシ・クーポンデザイン委託料55千円 ④名張市民	Ⅲ-2. 地域経済の活性化	4,118	4,118		4,118						R2.8.6	R2.12.25	2,614,492		2,614,000			492		2,614,000	・宿泊施設に対し、市民が市内宿泊施設に宿泊した場合に、その宿泊に係る費用から割引した額に対し補助金を交付しました。 割引クーポン発行枚数 500枚(128人) 割引クーポン利用回数 350回(98人) (割引金額:宿泊費の2分の1(上限8,000円)) 対象施設 11施設 申込多数のため、抽選によりクーポンを発行。 本事業は、市内宿泊施設からの評価が高く、継続してほしいとの声があったため、令和3年度に宿泊施設の意見をとり入れながら対象金額等を変更し再度実施した。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により低迷していた市内宿泊施設の経営継続支援として、市民による宿泊施設の利用を促進し、観光消費を促すことができた。 補助金額 2,505,992円 観光消費額 6,294,624円(補助金額合計の251.18%) 合わせて、対象宿泊施設に対し、三重県観光局作成の「県内観光事業者向けガイドライン作成の手引き」に基づき感染拡大防止対策を徹底し、取組の見える化を実施していることを条件としたため、市内宿泊施設の感染拡大を防止するための措置を徹底することができた。		
9	単	観光施設利用促進支援事業		①新型コロナウイルス感染症の感染拡大により今後の経営継続に大きな影響を受けている市内観光産業に対し、市民に遠く離れた観光地では訪れることが困難な観光地を確保するため、市民が市内観光施設を利用し、その利用に係る費用から割引した額の補助(補助金交付)を行うことにより、市内観光施設の消費喚起を促進する。 ②割引額に対する補助金、ポスター及びチラシ作成に要する経費、その他当該事業に係る経費 ③対象者:市内観光施設を利用する方 10,000人 補助額:1人につき 利用額から一律1,000円を割引<補助金>10,000千円 インスタグラム商品に係る報償費100千円、チラシ・ポスター印刷費88千円、広告掲載料152千円、チラシ・ポスターデザイン委託料55千円 ④市民及び観光客	Ⅲ-2. 地域経済の活性化	10,395	10,395		10,395							R2.8.6	R3.3.1	10,362,590		10,362,000			590		10,362,000	・市内観光施設において、利用料等の割引を実施した事業者に対し、補助金を交付した。 施設利用者数 ぶどう狩り 8,216人 忍び修行体験 2,000人 (割引金額:1人当たり上限1,000円) 対象施設 2施設 周知用ポスター作成 10枚 周知用チラシ作成 2,000枚 ・インスタグラム商品の開催(夏・秋2回開催) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により低迷していた市内観光施設の経営継続支援として、市民及び観光客による観光施設の利用を促進し、観光消費を促すことができた。 補助金額 9,999,700円 観光消費額 16,996,200円(補助金額合計の169.96%) 合わせて、対象観光施設に対し、三重県観光局作成の「県内観光事業者向けガイドライン作成の手引き」に基づき感染拡大防止対策を徹底し、取組の見える化を実施していることを条件としたため、市内観光施設の感染拡大を防止するための措置を徹底することができた。 観光需要の完全回復に向けた反転攻勢のためのSNSによる情報発信を強化することができ、現在も市民による本市の魅力発信を継続している。 インスタグラム「#名張感動」投稿数 4,227件(12月9日現在)	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により低迷していた市内観光施設の経営継続支援として、市民及び観光客による観光施設の利用を促進し、観光消費を促すことができた。	
10	単	テレワーク環境整備事業		①新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止及び職員、来庁者等の安全を確保するため、業務の効率化を図ると同時に在宅勤務や出勤制限等の緊急時における事業継続環境を構築する。 ②2IN1タブレット端末等購入及び保守に係る経費 ③端末機(保守を含む) 50台 12,205千円 Web環境、テレワーク環境等設定・構築委託 5,621千円 ソフトウェア(AI-RPA)ライセンス使用料 1,122千円 ④名張市	IV-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	18,948	18,948		18,948						R2.9.24	R3.3.1	14,542,000		14,542,000			-		14,542,000	庁内各会議室及び大会議室にてWeb会議を可能とするネットワーク環境を構築(R2.10)。テレワーク、Web会議及び議室を含む庁内会議に対応するタブレット端末を導入(R3.1)。併せて事務の効率化を図るため、AI-OCR/RPAを導入(R3.1)。 ・テレワーク対応用端末機器(55台) 7,920千円 ・Web会議・テレワーク環境構築(ネットワーク工事・機器設定、端末機器設定) 5,599千円 ・AI-OCR/RPA ライセンス使用料 1,023千円 テレワーク・Web会議対応用端末機器を使用したテレワーク勤務・Web会議の実施は450回を超え、これまで会議のために行った直接往来が減少した。またテレワーク勤務や保健所等への出向・勤務に利用するなど、働き方改革を含め感染予防・感染拡大対策に大きな効果があった。 業務効率化のためのソフトウェア導入では、保所入所支援業務や市民意識調査に係る事務、また業務の非定規業務の一部の作成等において、業務時間の削減が図られた。	テレワーク・Web会議対応用端末機器を使用したテレワーク勤務・Web会議の実施は450回を超え、これまで会議のために行った直接往来が減少した。またテレワーク勤務や保健所等への出向・勤務に利用するなど、働き方改革を含め感染予防・感染拡大対策に大きな効果があった。		
11	単	地域拠点環境整備事業		①市民センターの活動再開へ向けた感染症対策の整備や災害時に避難所として安心・安全な機能を果たすための改修を行う。 ②改修工事に係る経費 ③つづが丘市民センター屋上防水改修工事 21,763千円 すずらん台市民センター空調設備 300千円 ④名張市	I-1. マスク・消毒液等の確保	22,063	22,063		22,063						R2.7.30	R3.3.29	19,708,700		19,708,000			700		19,708,000	住民の拠点である市民センターの感染症対策の整備と避難所としての機能を果たすため、屋上防水改修と空調の整備を行った。 施設改修により、市民センターは感染症対策をしながら活動を再開。また、有事の際、住民による地域災害本部の拠点としての避難所運営が可能となった。			
12	単	地方消費者行政推進事業		①マスク・消毒液等の送り付け商売や、新型コロナウイルス感染症に関連した新たな手口の特殊詐欺等の注意喚起を行い、消費者被害を防止する。 ②コミュニティFM連携システム定時放送業務委託に係る経費 ③@44千円×11か月分=484千円 ④名張市	I-6. 情報発信の充実	484	484		484						R2.4.1	R3.3.1	455,400		455,000			400		455,000	コミュニティFM連携システム定時放送業務委託に係る経費 @11,000円×27回分=297,000円 @8,800円×18回分=158,400円 計 455,400円 啓発により、新型コロナウイルスに関連する消費者被害防止に寄与した。			

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実績一覧

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	所管	【計画申請時】										【実績】											
				【事業の概要】 ①目的・効果 ②交付金を充てる経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	経済対策との関係	A 総事業費	B 補助対象事業費	C-F 国庫補助額					G 補助対象外経費	事業始期	事業終期	令和2年度 決算額 （円）	国庫補助額 （円）	交付金充当 額 【A】	総債額 （円）	その他 （円）	（継続事業の場合） 令和3年度 決算見込額 （円）	うち、交付金 充当額 【B】	交付金 充当額合計 【A】+【B】	事業実績	効果検証
								C 国庫補助額	D 交付対象 経費	E 起債予 定額	F その他	令和2年度 決算額 （円）													
13	単	乳幼児のインフルエンザ予防接種の無料化		①インフルエンザの発症や重症化を予防することで、新型コロナウイルス感染症の同時流行を抑制し、医療提供体制への負担を軽減するとともに、乳幼児のインフルエンザ罹患により、保護者が看護等のために就労が困難な場合となるなどの影響を軽減するため、乳幼児インフルエンザ予防接種の無料化により、予防接種の促進を図る。 ②医療機関への予防接種委託料及び市外医療機関等での接種者への補助金の交付に係る経費 ③対象者（0～6歳2,940人（市外医療機関等での接種者を含みます。）） 委託料 @4千円×2,710人×2回=21,680千円 補助金 @4千円×230人×2回=1,840千円（市外医療機関等での接種者） 消耗品（報告書、請求書用紙等）10千円 40～6歳2,940人（市外医療機関等での接種者を含みます。）	1-3. 医療提供体制の強化	23,530	23,530	23,530	-	-	-	R2.10.26	R3.2.26	17,966,467		17,966,000						17,966,000	市内医療機関においてのべ4,202人がインフルエンザワクチンを接種した。また、市外医療機関等で接種した人から20件のワクチン接種費用助成の申請があった。この事業により、0～6歳の65.9%がインフルエンザ予防接種を受けた。	インフルエンザ予防接種を受けた乳幼児の割合が、前年と比較し1.7ポイント増加した。インフルエンザに罹患した乳幼児が減ったことで、新型コロナウイルス感染症が流行することが予想される中、医療提供体制の負担を軽減するとともに、保護者等の看護による就労への影響も軽減できた。	
14	単	公立保育所・幼稚園手洗い場の給湯設備整備		①新型コロナウイルス感染症対策として保育所・幼稚園での手洗いを徹底する。冬場でも温水で十分な手洗いができるように、手洗い場（屋外）に給湯設備を整備する。 ②保育所・幼稚園の手洗い場への給湯設備整備に係る経費 ③公立保育所4園・幼稚園2園（児童が密にならないよう複数の手洗い場に設置します。） 工事請負費 2,108千円（うち、保育所分1,193千円、幼稚園分915千円） ④名張市	I-1. マスク・消毒液等の確保	2,108	2,108	2,108	-	-	-	R2.10.16	R2.11.30	2,106,500		2,106,000						2,106,000	公立保育所4園・幼稚園2園の屋外手洗い場に給湯設備を整備した。 （電気温水器設置台数） 高原保育所1台、赤目保育所3台、大塚戸保育所2台、錦生保育所1台、梧棲南幼稚園3台、名張幼稚園3台	冬場でも温水で十分な手洗いができるように、新型コロナウイルス感染症対策の更なる徹底を図ることができた。	
15	単	3密を避けるための放課後児童クラブ施設整備事業		①新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、利用児童が多い蔵持小学校区の放課後児童クラブについて、施設を拡充し、分散した学童保育を実施する。 ②施設整備費及び設計に係る経費 ③施設改修費 12,705千円 設計費 1,426千円 ④名張市	I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	14,130	14,130	14,130	-	-	-	R3.1.21	R3.3.22	13,784,100		13,784,000						13,784,000	旧蔵持保育所のトイレ及び保育室の改修【設計費】1,188千円 【工事費】12,596千円	隣接する旧保育園を改修し、施設を拡充したことにより、コロナ禍でも密にならない学童保育の実施ができるようになった。	
16	単	学校臨時休業中の放課後児童クラブ開所支援金		①来所自粛により利用者が減少した放課後児童クラブを支援する目的で、令和2年4月20日から同年5月22日までの学校休業中の放課後児童クラブの利用料減収分に全園一律の学校臨時休業から6月末までの期間に勤務した市内22クラブの支援員に対し、一人当たり2万円を加算した給支支援金として支給する。 ②放課後児童クラブへの支援金支給に係る経費 ③減収分に対する支援金 6,063千円 放課後児童クラブ支援員への支援金（137人分）2,740千円 ④市内22クラブ	I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	8,803	8,803	8,803	-	-	-	R2.4.20	R2.6.30	7,966,750		7,966,000							7,966,000	【4-5月の利用料減収分】5,326千円 【支援員への支援金】20千円×132人=2,640千円	学校臨時休業中における放課後児童クラブの開所について、支援金を拠出することで勤務する支援員等の確保と運営継続につながり、また支援員の離職を防ぐことができた。
17	単	学校休業要請に伴う放課後児童クラブへの運営委託		①小学校の臨時休業に伴う放課後児童クラブの早期開所に係る委託料について、国の子ども・子育て支援交付金の補助対象外となる13時から14時までの開所分について、13時から14時までの開所に係る各放課後児童クラブへの委託に係る経費 ③市内8クラブ 247千円 ④名張市	I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	247	247	247	-	-	-	R2.4.20	R2.5.22	247,225		247,000							247,000	13時からの開所を行ったクラブ8クラブ【経費】247千円	学校臨時休業中における放課後児童クラブの開所について、通常14時以降の開所しかできないクラブに対して、支援金を拠出することで、人材を確保し、通常より早い13時からの開所を行うことができた。
18	単	高齢者等のフレイル予防対策事業		①新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う外出自粛等の影響により、高齢者等がフレイルに陥らないよう、認知・啓発に取り組みるとともに、今後の第2波以降に備え、一人暮らし世帯を中心に、必要に応じ訪問、相談支援等を行う。 ②高齢者等のフレイル予防に係る啓発資料及び訪問、相談等の感染予防対策に係るマスク・消毒液等の購入に係る経費 ③啓発資料作成費（6,000枚）495千円 マスク（4,000枚）102千円 消毒液（20本）227千円 ④名張市	I-1. マスク・消毒液等の確保	824	824	824	-	-	-	R2.10.1	R3.3.31	773,003		773,000							773,000	民生委員が70歳以上独居高齢者および後期高齢者のみ世帯を訪問し、高齢者等のフレイル予防に係る質問票とその健康教育資料を用いて生活と健康状態の把握と予防についての情報提供を行い、心身の衰えに関する相談窓口として地域包括支援センターやまちの保健室職員が感染防止対策技術を習得し、感染防護員を適切に用いて、必要な高齢者の訪問支援や面接相談が滞ることがないように努めた。	高齢者等約8000人に外出自粛に伴う心身の衰えのリスクの周知や相談窓口の再周知ができた。調査内容より、高齢者の健康意識・満足度と通いの場の参加有無に関する研究を実施し、通いの場とフレイル予防の関係性を明らかにし関係者に共有した。 職員等が感染対策を行ったうえで高齢者等の自宅訪問し、心身の状態を直接確認することを通じて、フレイル等の重症化予防や介護度の悪化防止につながる体制整備及び地域づくり組織と共に感染防止対策とフレイル予防、見守り等の取組を地区特性に応じ推進することができた。
19	単	赤ちゃん応援特別給付金事業		①新型コロナウイルス感染症の拡大が心配される中、妊産婦が安心して出産や子育てをできるように、また、子育て家庭の負担を軽減し、子どもの健やかな成長を支援するため、令和2年4月28日から同年12月31日まで生まれた子どもの世帯に対して、当該子ども一人当たり15万円の給付金を支給する。 ②給付金及び給付事務に係る経費 ③給付金@50千円×360人=18,000千円 事務費（印刷製本費、郵送料、消耗品費等）292千円 ④令和2年4月28日から同年12月31日までに生まれた子どもの世帯	II-4. 生活に困っている世帯や個人への支援	18,292	18,292	18,292	-	-	-	R2.10.1	R3.2.26	13,806,830		13,806,000							13,806,000	対象者274名のうち273名から申請が届け給付金を支給した。	新型コロナウイルス感染症の影響で収入が不安定になった家庭も多かったため、子育て家庭の経済的負担を軽減し、安心して出産や育児ができることにつながった。
20	単	子育て世帯支援事業		①新型コロナウイルス感染症の影響により、鈍化している経済の活性化及び子育て世帯の家計支援を目的として、18歳以下の子どもを持つ保護者（令和2年12月31日時点で、平成14年4月2日以降生まれの子どもがいる世帯の世帯主）に対し、市内で使用できる商品券を配布する。（子ども一人当たり5千円） ②商品券代、その他事務に係る経費 ③【事業費】@5千円×11,500人=57,500千円 【事務費】消耗品費、郵送料、印刷製本等委託料（商品券作成等）4,369千円 ④令和2年12月31日時点で、平成14年4月2日以降生まれの子どもがいる世帯の世帯主	III-2. 地域経済の活性化	61,869	61,869	61,869	-	-	-	R2.9.24	R3.3.31	62,607,209		62,607,000							62,607,000	令和2年11月2日に一斉配送し、以降令和2年12月31日まで「生まれた児童」に対して臨時交付金。配付総数は11,930冊 【事業費】@5千円×11,810,8冊=59,054,400円 【事務費】3,553,209円（コピー用紙、封筒代、郵送料、商品券作成等委託料）	発行総額59,650千円に対し、利用金額59,054千円のため、99%の利用率であった。窓口で直接交付した際、「コロナ禍で生活がいへんかな、ありがたい。」等のお声を多数いただいた。また、地域経済の活性化等にも寄与することができた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実績一覧

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	所管	【計画申請時】											【実績】												
				【事業の概要】 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	経済対策との関係	A 総事業費	B 補助対象事業費	C 国庫補助額				D 交付対象費	E 起債予定額	F その他	G 補助対象外経費	事業始期	事業終期	令和2年度決算額（円）	国庫補助額（円）	交付金充当額【A】	起債額（円）	その他（円）	（繰越事業の場合）令和3年度決算見込額（円）	うち、交付金充当額【B】	交付金充当額合計【A】+【B】	事業実績	効果検証
								国庫補助額	交付対象費	起債予定額	その他																
21	補助	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金	厚労	(感染症拡大に伴う面接相談等体制強化事業) ①新型コロナウイルス感染症の影響による要保護者からの生活保護に関する面接相談等に対し、必要方へ生活保護が滞りなく決定されるよう、面接相談等の体制の強化を図る ②生活保護の新規申請に対する決定事務の補助業務に従事する者の報酬(会計年度任用職員2人分)等に係る経費 ③報酬 2,553千円 ④共済費 526千円 ⑤費用弁償 70千円 ⑥名張市	Ⅱ-4. 生活に困っている世帯や個人への支援	3,149	3,149	2,361	788	-	-	-	R2.4.1	R3.3.1	3,198,668	2,361,000	648,000	-	-	189,668	-	-	648,000	相談実績 299件	コロナ禍で生活保護に対する相談が前年比132%と増加、特に2月は2倍以上の増加がみられた。相談内容も複雑化する中で、相談業務を十分な時間をかけて適切に行うことができた。		
22	補助	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金	厚労	(自立相談支援機関等の強化事業) ①新型コロナウイルス感染症の影響により、生活に困窮されている方に対し、自立相談支援機関の人員体制の強化を図り、現下の情勢における必要な支援を実施する ②自立相談支援機関(名張市社会福祉協議会)への委託に係る経費 ③名張市社会福祉協議会への委託料(自立相談支援員の賃金等) 2,500千円 ④名張市	Ⅱ-4. 生活に困っている世帯や個人への支援	2,500	2,500	1,875	625	-	-	-	R2.10.1	R3.3.1	1,600,000	1,200,000	400,000	-	-	-	-	-	400,000	相談支援補助業務員の配置2名 オンライン支援のためのWEB会議用タブレット2台の導入。	今までの相談で寄せられることになかった個人事業主やフリーランス、外国籍の方からの相談が増加する中、WEB面談など感染症対策を講じたがらの対応を行うことができた。		
23	単	全世帯型プレミアム付商品券発行事業		①市内飲食店を対象とした「うまいもん地元応援事業」で支援しきれない事業所の支援を目的とし、全業種を対象としたプレミアム付商品券を発行することで市内事業所での消費活性化へつなげ、市内経済の活性化を行う。 -5千円の商品券を3千円で販売(プレミアム分2千円)※一世帯あたり2冊を上限。 -1冊発行総額4,600千円分 ②商品券の引換券発送に係る経費及び名張商工会議所への当該事業に係る補助金の交付に係る経費 ③引換券発送業務 人件費764千円、共済費・手当94千円、郵送料2,872千円、通知書等消耗品1,083千円、封筒印刷費350千円 【名張商工会議所への補助】 プレミアム分 @2千円×2冊/世帯×34,600世帯=138,400千円 事務費(商品券印刷、販売手数料等) 13,257千円 ④名張市及び名張商工会議所	Ⅲ-2. 地域経済の活性化	156,850	156,850	156,850	-	-	-	-	R2.9.24	R3.3.1	143,500,564	143,500,000	-	-	-	564	-	143,500,000	■プレミアム補助 @2千円×64,320.8冊=128,641.6千円 ■事務費 11,281.4千円 □利用可能加盟店 564店舗(内大型店26店舗) ★【名張市】 事務費 3,577,564円	5,000円(自己負担3,000円)・プレミアム2,000円の商品券が64,826冊、323,130千円分が購入され市内の経済の活性化に一翼を担うことができた。 飲食店にとどまらずさまざまな業種の店舗を支援するとともに、市民の個人消費を喚起することで売り上げ減少の店舗への支援ができた。 事業者からは、商品券+現金での購入などで売り上げ増加が期待されたことでもあった。 市民の声としては普段より少しいい商品を購入したり利用したことのない店舗で購入したとの声もあった。 事業者、市民双方にとって有意義な事業であった。			
24	単	公園トイレ洋式化整備事業(当初予算活用分)		①新型コロナウイルス感染症等の感染症対策として、市内の公園のトイレについて、靴を介してウイルスが拡散されるリスクの高い和式便器の洋式化を行う。また、外出自粛による運動機会の減少への対策として、公園のトイレの洋式化を行うことで、子どもや高齢者など利用者の身体への負担軽減が図られ、公園利用が促進されることにより、健康増進を図る。 ②公園トイレを洋式化するための改修に係る経費 ③必要経費12,935千円(うち、当初予算1,936千円、補正予算10,999千円) 公園8施設(大便器15基・小便器8基) 設計委託費 2,608千円 工事請負費 10,329千円 ④名張市	Ⅰ-1. マスク・消毒液等の確保	1,936	1,936	1,936	-	-	-	-	R2.9.14	R2.10.30	1,703,900	-	1,703,000	-	-	-	900	-	1,703,000	経費10,033千円(うち、当初予算1,703千円、補正予算8,330千円) 公園8施設(大便器15基・小便器8基)内大便器3基・小便器3基 設計委託費 1,703千円 工事請負費 8,330千円	公園トイレの衛生器具を洋式化へ改修することにより、新型コロナウイルスのウイルス拡散リスクの軽減が図れた。又、公園利用者の利便性が向上したことにより、施設利用者数が増加傾向となっている。		
25	単	公園トイレ洋式化整備事業(補正予算活用分)		①新型コロナウイルス感染症等の感染症対策として、市内の公園のトイレについて、靴を介してウイルスが拡散されるリスクの高い和式便器の洋式化を行う。また、外出自粛による運動機会の減少への対策として、公園のトイレの洋式化を行うことで、子どもや高齢者など利用者の身体への負担軽減が図られ、公園利用が促進されることにより、健康増進を図る。 ②公園トイレを洋式化するための改修に係る経費 ③必要経費12,935千円(うち、当初予算1,936千円、補正予算10,999千円) 公園8施設(大便器15基・小便器8基) 設計委託費 2,608千円 工事請負費 10,329千円 ④名張市	Ⅰ-1. マスク・消毒液等の確保	10,999	10,999	10,999	-	-	-	-	R2.10.14	R3.3.12	8,330,300	-	8,330,000	-	-	-	300	-	8,330,000	経費10,033千円(うち、当初予算1,703千円、補正予算8,330千円) 公園8施設(大便器15基・小便器8基)内大便器12基・小便器5基 設計委託費 1,703千円 工事請負費 8,330千円	公園トイレの衛生器具を洋式化へ改修することにより、新型コロナウイルスのウイルス拡散リスクの軽減が図れた。又、公園利用者の利便性が向上したことにより、施設利用者数が増加傾向となっている。		
26	単	地域コミュニティ交通維持協力金		①新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、外出自粛等から利用者数が減少する中、地域コミュニティバスの運行を継続し、地域住民の移動手段の確保、維持に努めた地域コミュニティバス運行事業実施団体(地域コミュニティバス運行協議会4団体)に対し、支援を行う。 ②地域コミュニティバスの運行の継続に要する費用の一部を補助金として交付することに係る経費 ③4団体への補助金 1,100千円 ④地域コミュニティバス運行協議会4団体	Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント・事業等に対する支援	1,100	1,100	1,100	-	-	-	-	R2.10.15	R2.12.15	1,000,000	-	1,000,000	-	-	-	-	1,000,000	地域コミュニティバスの運行を継続し、地域住民の移動手段の確保、維持に努めた地域コミュニティバス運行協議会4団体 ・補助金額 1,000千円(1団体当たり250千円)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による外出自粛等により、地域コミュニティバスの利用者数及び運賃収入が令和元年度比約30%減少する状況において、支援金の交付により、地域住民の移動手段の確保、維持が図られている。			
27	単	名張市病院事業会計繰出		①名張市立病院について、新型コロナウイルス感染症に対応するため、診療に必要な医療機器、備品等(緊急包括支援事業の補助対象外)を購入する。 ②医療機器、医療用備品の購入経費 ③以下の経費について、名張市病院事業会計へ繰り出す。 簡易キヤリングベッド 946千円、除圧車椅子 660千円、足踏み感染検査ボックス8台 200千円、綿紗器6本 93千円、体温計6台 68千円、自動血圧計4台 35千円、診察用タブレット6台 248千円、血管浄化装置 6,490千円、縮下内視鏡 1,408千円、ビデオ顕微鏡 178千円、発熱ブース用テント 224千円、ホータブルX線装置 36,740千円、電子カルテ5台 2,172千円、ベッドバンウォッシャー-3,490千円、クリーンバーテーション 90千円 ④名張市病院事業会計	Ⅰ-3. 医療提供体制の強化	53,076	53,076	53,076	-	-	-	-	-	R2.5.1	R3.3.1	53,066,150	53,066,150	-	-	-	-	-	53,066,150	簡易キヤリングベッド946,000円除圧車椅子660,000円、感染検査ボックス220,000円、綿紗器102,980円、体温計96,250円、自動血圧計38,456円、タブレット73,121円、血液浄化装置6,490,000円、縮下内視鏡1,408,000円、ビデオ顕微鏡178,200円、発熱ブース用テント223,600円、ホータブルX線装置36,740,000円、電子カルテ5台2,126,850円、ベッドバンウォッシャー-3,498,000円、クリーンバーテーション65,563円	公立病院として積極的にコロナ対応し、市民が安心・安心して生活できる医療体制を構築することができた。また、こうした医療機器を整備することで、適切な院内感染の防止が実現できた。		

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実績一覧

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	所管	【計画申請時】											【 実績 】															
				【事業の概要】 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	経済対策との関係	A 総事業費	B 補助対象事業費	C 国庫補助額					D 交付対象経費	E 起債予定額	F その他	G 補助対象外経費	事業始期	事業終期	令和2年度決算額（円）	国庫補助額（円）	交付金充当額【A】（円）	起債額（円）	その他（円）	（継続事業の場合）令和3年度決算見込額（円）	うち、交付金充当額【B】（円）	交付金充当額合計【A】+【B】（円）	事業実績	効果検証		
								国庫補助額	交付対象経費	起債予定額	その他	補助対象外経費																		
28	単	名張市病院事業会計繰出		①名張市立病院について、新型コロナウイルス感染症対策として、面会制限等を行っている中、入院患者とオンラインでコミュニケーションを図るために病棟のWi-Fi環境を整備する。 ②Wi-Fi環境の工事に係る経費 ③以下の経費について、名張市病院事業会計へ繰り出す。 院内Wi-Fiアクセス環境整備工事 2,386千円 Wi-Fiネットワーク（ひかり）回線引込工事 500千円 ④名張市病院事業会計	I-3. 医療提供体制の強化	2,886	2,886		2,886	-	-				R2.9.1	R3.3.31	2,885,850		2,885,850								2,885,850	Wi-Fiアクセス環境整備工事2,885,850円	Wi-Fiネットワークを活用することで、入院患者とその家族とのオンライン面会が可能となり、面会制限下でもコミュニケーションを図っていただくことができた。	
29	単	名張市病院事業会計繰出		①名張市立病院について、新型コロナウイルス感染症対応のために要した医療従事者について、時間外勤務手当、特殊勤務手当を支給する。 ②新型コロナウイルス感染症（疑いを含む。）対応に係る医療従事者の時間外勤務手当、特殊勤務手当の支給に係る経費（R3.3までの見込額） ③以下の経費について、名張市病院事業会計へ繰り出す。 医師・看護師時間外勤務手当（新型コロナウイルス感染症関連分） 10,199千円 医師・看護師・技師特殊勤務手当 7,884千円 ④名張市病院事業会計	I-3. 医療提供体制の強化	18,083	18,083		18,083	-	-				R2.4.1	R3.3.31	19,382,459		19,382,459								19,382,459	職員の防疫手当(4月～12月)及び時間外勤務手当(4月～12月)19,382,459円	コロナの影響により医療収入が減少する中で、コロナ対応で体制拡充として従事した職員に対し支給する特殊勤務手当及び時間外勤務手当の財源を確保することができた。	
30	単	名張市病院事業会計繰出		①名張市立病院について、新型コロナウイルス感染症に対応するため、体制を強化したことにより、常勤医師が拒った時間外救急に係る日直、宿直日について、非常勤医師による代替措置を行う。 ②非常勤医師の報酬支給に係る経費 ③以下の経費について、名張市病院事業会計へ繰り出す。 小児救急非常勤医師 報酬@100千円×宿直3回/月×12か月=3,600千円 ④名張市病院事業会計	I-3. 医療提供体制の強化	3,600	3,600		3,600	-	-				R2.4.1	R3.3.31	159,500		159,500								159,500	非常勤医師防疫手当159,500円	コロナ禍における救急及びコロナ対応について、非常勤医師の協力を得ることで体制が確保できた。また、非常勤医師が担当する道及び日直業務を非常勤医師が担うことにより、コロナ対応に従事した非常勤医師の負担軽減につながった。	
31	単	名張市病院事業会計繰出		①新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、地域における医療提供体制が逼迫する中、看護師養成所の医療機関での実習中止が続き、名張市立看護専門学校においても同様の状況にあることから、実習の不足分を学内演習に代えることに伴い、実習と同等の知識と技能を修得するために必要な資材を整備する。 ②実習シミュレーター購入に係る経費 ③以下の経費について、名張市病院事業会計へ繰り出す。 ハイブリッドシミュレーター 3,080千円 万能実習モジュール 714千円 採血・静注シミュレーター 231千円 沐浴人形 165千円 ④名張市病院事業会計	I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	4,190	4,190		4,190	-	-				R2.9.1	R3.3.31	4,152,196		4,152,196								4,152,196	ハイブリッドシミュレーター3,080,000円、万能実習モジュール825,130円、採血・静注シミュレーター213,400円、器管式採血注セット50,600円、沐浴人形138,600円、消毒液20,844円、環境清拭スプレー14,025円、オートデスベンスー5,742円、ペーパータオルホルダー3,855円	感染予防として、学内実習が中止されたことにより、技術の向上が困難となったが、シミュレーション人形等を使用することで技術が低下することなく、看護学生の技術力が確保できた。	
32	単	名張市病院事業会計繰出		①名張市立看護専門学校について、新型コロナウイルス感染症の影響により、外部講師による講義をオンラインで行うなど、ICTの活用により全ての学生が学びを保障するために必要な設備等を整備する。 ②遠隔授業を行うための機材購入等に係る経費 ③以下の経費について、名張市病院事業会計へ繰り出す。 無指向性マイク、スピーカー、カメラ 185千円 Wi-Fiアクセスポイント設置費4か所 440千円 Wi-Fiアクセスポイント環境整備委託 700千円 遠隔授業用PC等 200千円 Web会議システム使用料 18千円 タブレット 820千円 ④名張市	I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	2,363	2,363		2,363	-	-				R2.9.1	R3.3.31	1,560,845		1,560,845									1,560,845	マイク54,450円、スピーカー18,315円、カメラ・カメラ用スタンド40,735円、Wi-Fiアクセスポイント設置に係る工事費1,207,800円、遠隔授業用PC-PC用アプリケーションライセンス、セキュリティソフト110,440円、プロジェクター-プロジェクター用無線LAN-スクリーン129,085円	感染対策により学校での授業を行うことが困難であったが、Wi-Fi設備を整備することにより、オンライン授業が可能となり、コロナ禍でも看護教育を継続して行うための体制を確保することができた。
33	単	救急業務感染防止対策事業（当初予算活用分）		①救急隊員の新型コロナウイルス感染症感染予防のため、救急車等の除染用資材を導入するとともに、第2家、第3段に備えた感染防止資材を整備する。 ②除染用資材及び感染防止資材の購入に係る経費 ③必要経費2,701千円（うち、当初予算256千円、補正予算2,445千円） 【除染用資材（オン発生装置）】 救急車積載用(2基) 546千円 除染室用(1基) 1,210千円 【感染防止資材】 消毒液68千円、フェイスシールド28千円、感染防止衣460千円、サージカルマスク121千円、ゴーグル32千円、グローブ51千円、BVMフィルター(OPA用)44千円、イントロック(気管挿管用)150千円、保冷ベスト(感染防止衣インナー)91千円 ④名張市	I-1. マスク・消毒液等の確保	256	256		256	-	-				R2.4.1	R3.3.31	239,800		239,800		800						239,800	○除染用資材及び感染防止資材の購入 ・オン発生装置救急車積載用2基、除染室用1基 ・消毒液32L、フェイスシールド100枚、感染防止衣200枚、サージカルマスク2,500枚、ゴーグル30個、グローブ1,000枚、心肺蘇生用BVMフィルター100個、気管挿管用イントロック20個、感染防止衣インナー保冷ベスト10枚 購入	オン発生装置の導入と感染防止資材の確保により、救急車や救急資材の除染、消毒作業が短時間でできるようになるなど、コロナ禍においても支障無く救急業務を継続することが出来ている。 また、救急業務に起因する新型コロナウイルス感染症を一人も出すことなく、職場内での感染拡大防止が図られている。	
34	単	救急業務感染防止対策事業（補正予算活用分）		①救急隊員の新型コロナウイルス感染症感染予防のため、救急車等の除染用資材を導入するとともに、第2家、第3段に備えた感染防止資材を整備する。 ②除染用資材及び感染防止資材の購入に係る経費 ③必要経費2,701千円（うち、当初予算256千円、補正予算2,445千円） 【除染用資材（オン発生装置）】 救急車積載用(2基) 546千円 除染室用(1基) 1,210千円 【感染防止資材】 消毒液68千円、フェイスシールド28千円、感染防止衣460千円、サージカルマスク121千円、ゴーグル32千円、グローブ51千円、BVMフィルター(OPA用)44千円、イントロック(気管挿管用)150千円、保冷ベスト(感染防止衣インナー)91千円 ④名張市	I-1. マスク・消毒液等の確保	2,445	2,445		2,445	-	-				R2.4.1	R3.3.31	2,384,536		2,384,000		536						2,384,000	○除染用資材及び感染防止資材の購入 ・オン発生装置救急車積載用2基、除染室用1基 ・消毒液32L、フェイスシールド100枚、感染防止衣200枚、サージカルマスク2,500枚、ゴーグル30個、グローブ1,000枚、心肺蘇生用BVMフィルター100個、気管挿管用イントロック20個、感染防止衣インナー保冷ベスト10枚 購入	オン発生装置の導入と感染防止資材の確保により、救急車や救急資材の除染、消毒作業が短時間でできるようになるなど、コロナ禍においても支障無く救急業務を継続することが出来ている。 また、救急業務に起因する新型コロナウイルス感染症を一人も出すことなく、職場内での感染拡大防止が図られている。	

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実績一覧

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	所管	【計画申請時】											【 実 績 】														
				【事業の概要】 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	経済対策との関係	A 総事業費	B 補助対象事業費	C 交付対象経費					G 補助対象外経費	事業始期	事業終期	令和2年度 決算額 (円)	国庫補助額 (円)	交付金充当 額【A】 (円)	起債額 (円)	その他 (円)	(繰越事業の場合) 令和3年度 決算見込額 (円)	うち、交付金 充当額 (円) 【B】	交付金 充当額合計 (円) 【A】+【B】	事業実績	効果検証				
								C 国庫補助額	D 交付対象 経費	E 起債予 定額	F その他	令和2年度 決算額 (円)														国庫補助額 (円)	交付金充当 額【A】 (円)	起債額 (円)	その他 (円)
35	単	GIGAスクール構想実現事業(一人一台端末準備購入)	文科	①学校の臨時休業等の緊急時において、ICTの活用により、子どもたちの学びを保障できる環境を実現するため、市内小中学校の全ての児童生徒分として整備するタブレット端末にあわせて、故障等の対応のための予備用端末として50台を整備する。 ②予備用台の端末購入及び保守に係る経費 ③【導入経費】端末機本体@45千円×50台=2,250千円 ④【運用費】保険料25千円 ⑤保守委託56千円 ⑥4名区市	1-8 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	2,331	2,331	2,331	-	-	-	R2.5.28	R3.3.18	2,247,850		2,247,000			850			2,247,000	(端末機本体) @44,957円×50台=2,247,850円	この整備により児童生徒と教職員の両方で、一人一台の学習用タブレット環境を整えることができた。新型コロナウイルス等による臨時休業に際しても、遠隔授業が可能となり子どもの学びを保障することができるようになった。					
36	補	公立学校情報機器整備費補助金	文科	(GIGAスクールサポーター配置支援事業) ①一人一台端末の運用を実施するに当たり、GIGAスクールサポーターによるネットワークの初期設定を行う。 ②端末やネットワークのための設計、設定、配属に係る経費 ③委託料 21,518千円 ④4名区市	IV-3. リモート化等によるデジタルトランスフォーメーションの加速	21,518	21,518	10,758	10,760	-	-	R2.5.28	R3.3.22	21,517,900	10,758,000	10,759,000			900		10,759,000	ネットワークの初期設定に係る委託料 21,518千円	学習支援ソフトの設定や個別指導番号のわかるシールの貼付作業等の委託委託を実施、これにより始業式等で全校児童生徒が一斉に集まる機会を、各教室に分散し動画視聴とリモート参加する方法に切り替えることができたことで、新型コロナウイルス感染症対策に効果を得ている。また、臨時休校等による遠隔授業の実施が可能となった。						
37	単	GIGAスクール構想実現事業(一人一台端末セットアップ)	文科	①一人一台端末の運用を実施するに当たり、GIGAスクールサポーターで補えない端末やネットワークの初期設定作業を行う。 ②キックオフ、配属に要する委託経費 ③初期設定費5,970台分(小中学校19校)等 13,192千円 ④4名区市	IV-3. リモート化等によるデジタルトランスフォーメーションの加速	13,192	13,192		13,192	-	-	R2.5.28	R3.3.22	5,687,300		5,687,000			300		5,687,000	①一人一台端末の運用を実施するに当たり、GIGAスクールサポーターで補えない端末やネットワークの初期設定作業を行った。 ②キックオフ、配属に要する委託経費 ③初期設定費5,970台分(小中学校19校)等 27,205千円(うちGIGAスクールサポーター配置支援事業分21,518千円) ④4名区市	同上						
38	単	GIGAスクール活用事業	文科	①児童生徒の一人一台端末をより有効に活用し、より深い学びにつなげることを目的として、市内中学校の各教室に大型モニターを整備する。 ②市内9中学校への大型モニター整備に係る経費 ③モニター整備工事 @191千円 ④モニター伝送用端末機268台 @7,017千円 ⑤既存モニター撤去手数料 99千円 ⑥4名区市	IV-3. リモート化等によるデジタルトランスフォーメーションの加速	29,067	29,067		29,067	-	-	R2.5.28	R3.3.25	25,613,390		25,613,000			390		25,613,000	市内全小中学校普通教室にタブレット端末の画像を無線で転送する装置と、中学校普通教室に黒板投影型のプロジェクタの設置。干渉した電源保管庫の追加工事。 ③AppleTV @1720×252台 @4,352,040円 ④短焦点レーザープロジェクタ @295,900円×22台 =18,641,700円 ⑤プロジェクタ設置工事 @963,500円 ⑥移動型マグネットスクリーン @25,300×63台 =556,600円 ⑦充電保管庫用ケーブル付き木製台 @99,550円	GIGAスクール構想により配備した端末が、さらに有効的に活用できるようになった。新型コロナウイルス対策としてソーシャルディスタンスを確保しながら、対話的な学びの実現、協働的な学習が実施できるようになった。また新型コロナウイルスにより学校行事が制限される中、大型提示装置を活用し、リモート参加を実施することで、児童生徒が主体的に行事に参加することができた。						
39	補	公立学校情報機器整備費補助金	文科	(学校からの遠隔学習機能の強化事業) ①ICTを活用した家庭学習や、学校での集会・行事等で双方向で参加することが可能となる機器を整備する。 ②遠隔授業に使用するためのマイクの購入に係る経費 ③遠隔授業用マイク @35千円×19個(校) ④4名区市	IV-3. リモート化等によるデジタルトランスフォーメーションの加速	665	665	332	333	-	-	R2.5.28	R3.3.29	660,000	329,000	331,000			-		331,000	遠隔授業用マイク @16,500円×40	導入したマイクセットを、GIGAスクール構想により配備した端末やネットワークに接続することで、新型コロナウイルス感染症による臨時休業時に、授業動画の配信やチャット教材の作成が、児童生徒の関与がしやすい形式として、市内全小中学校で可能となった。また新型コロナウイルス感染症対策で実施が困難な集会等も、マイクセットを活用して校内配信ができるようになった。						
40	単	遠隔・オンライン学習の環境整備事業(当初予算活用分)	文科	①遠隔授業としてオンライン学習を自宅で行う際に、支援を必要とする家庭に対し、その通信費を助成する。 ②通信費の助成に係る経費 ③必要経費1,298千円(うち、当初予算462千円、補正予算836千円) ④@5,900円×1か月×220人 ⑤4名区市	IV-3. リモート化等によるデジタルトランスフォーメーションの加速	462	462		462	-	-			-		-				-	-	-	-	この期間で、小中学校の遠隔授業をすることがなかったため、実績はなし。	未実施のため効果検証なし。				
41	単	遠隔・オンライン学習の環境整備事業(補正予算活用分)	文科	①遠隔授業としてオンライン学習を自宅で行う際に、支援を必要とする家庭に対し、その通信費を助成する。 ②通信費の助成に係る経費 ③必要経費1,298千円(うち、当初予算462千円、補正予算836千円) ④@5,900円×1か月×220人 ⑤4名区市	1-8 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	836	836		836	-	-			-		-			-	-	-	-	-	この期間で、小中学校の遠隔授業をすることがなかったため、実績はなし。	未実施のため効果検証なし。				
42	補	学校保健特別対策事業費補助金	文科	(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等)に係る支援事業 ①学校再開における消毒液等の保健衛生用品、給食調理員の感染症対策、その他を避けるために必要な措置を講じるための経費等 ②消耗品費11,894千円(消毒液、非接触体温計、冷却パスト、コピー用紙、その他衛生用品等) ③疫学調査10千円(備前) ④使用料及び賃借料1,919千円(社会見学等バス増便費等) ⑤備品購入費11,059千円(ペン、パーテーション、テーブル、マイク、プロジェクタ、プリンタ、デジタル教科書等) 計25,000千円 ⑥4名区市	1-1 マスク・消毒液等の確保	25,000	25,000	12,500	12,500	-	-	R2.4.1	R3.3.29	26,262,668	12,500,000	12,500,000			1,262,668		12,500,000	-購入内容等 手指消毒アルコールなどの購入、3密を回避するためのバス増便経費、その他、休校期間中の学習補償のための紙や備品の購入	感染が拡大していく中で、学校再開となったため、感染対策のための備品の購入ができたことで、感染対策が図られた。また、感染方法などが分からない状況で3密の回避を図ることができたことで感染対策を行えた。						
43	補	学校保健特別対策事業費補助金	文科	(感染症対策のためのマスク等購入支援事業) ①新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策として、休業していた小中学校の再開に当たり、必要な保健衛生用品を整備する ②非接触型体温計等の購入に係る経費 ③非接触型体温計10千円×40台、手指消毒液9,046円×10本 ④4名区市	1-1 マスク・消毒液等の確保	2,029	2,029	1,014	1,015	-	-	R2.4.1	R3.2.22	2,029,361	1,014,000	1,015,000			361		1,015,000	-購入内容 非接触の体温計、手指消毒用アルコール、その他感染拡大予防のための様々な消耗品等	感染対策のための消毒用アルコールや非接触型体温計を購入することで、学校の感染対策が図られた。						
44	単	学校の臨時休業に伴う学習等への支援事業	文科	①学校の臨時休業期間中の家庭学習への支援として、ケーブルテレビ会社と連携の上、映像コンテンツの製作・放送を行う。 ②コンテンツ制作・放送の委託に係る経費 ③@88千円×3本=264千円 ④4名区市	1-8 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	264	264		264	-	-	R2.5.15	R2.7.10	264,000		264,000			-		264,000	コンテンツ制作・放送の委託に係る経費 @88千円×3本=264千円	新型コロナウイルス感染症により小中学校の臨時休業が、GIGAスクール構想の1人1台端末が配備される前に実施されたため、小学生を対象とした学習コンテンツを作成し、ケーブルTVとインターネットで視聴できるようにして配信をおこなった。コンテンツは国語や英語といった内容に加え、運動や工作といった幅広い発達段階の児童生徒にも対応できる内容とすることができた。						

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実績一覧

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	所管	【計画申請時】											【実績】										
				【事業の概要】 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	経済対策との関係	総事業費	補助対象事業費	A					補助対象外経費	事業始期	事業終期	令和2年度決算額(円)	国庫補助額(円)	交付金充当額【A】	起債額(円)	その他(円)	(繰越事業の場合)令和2年度決算見込額(円)	うち、交付金充当額【B】	交付金充当額合計【A】+【B】	事業実績	効果検証
								B	C	D	E	F													
45	単	密集軽減のための輸送能力増強事業		①小中学校のスクールバスの密集状況を避けるため、混雑な状況の2地区について、増便によりその軽減を図る。 ②増便に係る委託経費 ③2,459千円 ④4名張市	I-1. マスク・消毒液等の確保	2,459	2,459			2,459	-	-	R2.5.22	R2.11.30	2,458,500		2,458,000			500			2,458,000	・対象学校 小学校1校、中学校1校 ・委託経費 446,135円	増便を行うことで、これまで満員で運行していたバスの乗車人数を軽減することができ、密回避により感染リスクを低下させることができた。
46	単	学校の臨時休業に伴う学習支援事業(修学旅行キャンセル分)		①新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、修学旅行がキャンセルとなった場合に発生するキャンセル料について、保護者の経済的負担を軽減するためその経費を対し、支援を行う。 ②キャンセル料等に要する経費 ③旅行代金3,000千円×20%=600千円 ④4名張市	I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	600	600			600	-	-	R2.10.5	R2.11.16	446,135		446,000			135			446,000	・対象学校 小学校4校 ・連約率 10%~20% ・連約金 446,135円	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で本人や保護者の意思と関係なく発生したキャンセルを市が支払うことで、保護者負担の軽減が図れた。
47	単	総合体育館改修事業		①新型コロナウイルス感染症感染拡大期における災害発生時において、避難所として避難者を受け入れ、かつ、感染疑いのある避難者を隔離できるよう、総合体育館及び併設する勤労者福祉会館を一体的に活用するため、必要な改修を行う。 ②総合体育館等改修工事(天井等修繕)に係る経費 ③設計委託料 2,648千円 工事請負費等 103,138千円 ④4名張市	I-1. マスク・消毒液等の確保	105,784	105,784			105,784	-	-	R2.10.14	R3.10.18	39,245,290		39,245,000			190	66,897,900	66,897,000	106,142,000	・屋上空工改修、屋上防水改修、内部壁塗装 ・床改修、2階トイレ・エレベーター改修及び改修にかかる給排水衛生設備改修工事 一式 ・受電所高圧引込ケーブル改修、各所キュービクル不具合點改修、非常放送・防災・防火・排煙設備改修工事 一式	総合体育館及び併設する勤労者福祉会館を一体的に活用するため、必要な改修を行ったことにより、新型コロナウイルス感染症感染拡大期における災害発生時において、避難所として避難者を受け入れ、かつ、感染疑いのある避難者を隔離できるような環境整備に寄与することができた。
48	単	公共施設等の管理維持体制維持事業(体育施設)		①総合体育館及び武道交流館いきいきにおける新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、必要な環境整備を行う。 ②換気環境の整備、サーキュレーター、非接触型体温計等の購入に係る経費 ③換気設備整備 1,413千円、サーキュレーター@60千円×10台・10千円×8台、非接触型体温計@10千円×20台、手指消毒液@4千円×10本、補充液9千円×80本 ④4名張市	I-1. マスク・消毒液等の確保	3,053	3,053			3,053	-	-	R2.9.23	R3.3.31	2,409,373		2,409,000			373			2,409,000	・非接触型体温計20台及び消毒液、スプレー購入 ・マツヤマSKアリーナ(名張市総合体育館)等網戸設置工事 ・サーキュレーター19台購入	消毒及び換気に必要な物品の購入及び設備修繕により名張市体育施設及び名張市武道交流館いきいきにおける新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を取ることができた。
49	単	公共施設等の管理維持体制維持事業(文化施設)		①青少年センターにおける新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、必要な環境整備を行う。 ②換気設備の整備、サーキュレーター、非接触型体温計等の購入に係る経費 ③換気設備整備 93千円、サーキュレーター@10千円×11台、非接触型体温計@10千円×15台、手指消毒液@4千円×12本、補充液9千円×40本 ④4名張市	I-1. マスク・消毒液等の確保	761	761			761	-	-	R2.9.24	R3.3.31	513,249		513,000			249			513,000	・非接触型体温計15台及び消毒液、スプレー購入 ・サーキュレーター10台購入	消毒及び換気に必要な物品の購入及び設備修繕により名張市青少年センターにおける新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を取ることができた。
50	単	名張中央公園トイレ洋式化整備事業		①新型コロナウイルス感染症等の感染症対策として、名張中央公園のトイレについて、糞を介してウイルスが拡散されるリスクの高い和式便器の洋式化を行う。また、外出自粛による運動機会の減少への対策として、公園トイレの洋式化を行うことで、子どもや高齢者など利用者の身体への負担軽減が図られ、公園利用が促進されることにより、健康増進を図る。 ②名張中央公園トイレの洋式化及び下水道接続工事(トイレ5か所)に係る経費 ③設計委託料6,601千円 工事請負費83,204千円 汚泥引取手数料6,245千円 ④4名張市	I-1. マスク・消毒液等の確保	96,050	96,050			96,050	-	-	R2.10.14	R3.9.2	20,028,000		20,028,000			-	33,579,400	33,579,000	53,607,000	・新型コロナウイルス感染症等の感染症対策として、名張中央公園のトイレについて、糞を介してウイルスが拡散されるリスクの高い和式便器の洋式化を行った。 ・勤労者福祉会館便所改修及び公共下水道接続 ・野球場観音所改修及び公共下水道接続 ・夏見寺前便所改修及び公共下水道接続 ・陸上競技場観音所改修 ・市民プール管理棟便所改修及び公共下水道接続	名張中央公園に点在するトイレについて、和式便器の洋式化等整備改修を行うことにより、新型コロナウイルス感染症対策として、ウイルスが拡散されるリスクが高い糞を介する課題解決を図ることができた。
51	単	図書館感染症拡大防止対策		①図書館利用者が安心して図書館に触れ、豊かな時間を過ごすことができるよう、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じる。 ②換気設備の整備に係る費用 ③換気設備工事 4,300千円 ④4名張市	I-1. マスク・消毒液等の確保	4,300	4,300			4,300	-	-	R2.7.28	R2.12.18	4,397,624		4,397,000			624			4,397,000	・図書館利用者安心して図書館に触れ、豊かな時間を過ごすことができるよう、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じた。 ・電動排煙設備改修工事一式	避難所にも指定されている大規模空間建築物の図書館修繕工事の改修工事を実施することにより、感染予防対策の強化と共に、感染リスクの低減が図れている。 また、避難所運営や来館者にとっては、改修工事の実施により、適切・安心な施設利用が可能となっている。
52	単	国津・長瀬小体育館トイレ改修事業		①新型コロナウイルス感染症等の感染症対策として、市体育施設であり、災害時の避難所でもある体育館のトイレについて、糞を介してウイルスが拡散されるリスクの高い和式便器の洋式化を行う。 ②トイレの洋式化に係る経費 ③工事経費 1,568千円 ④4名張市	I-1. マスク・消毒液等の確保	1,568	1,568			1,568	-	-	R2.12.22	R3.1.8	1,562,000		1,562,000			-			1,562,000	・国津・長瀬小体育館のトイレについて、和式便器の洋式化を行い、糞を介してウイルスが拡散されるリスクの高い和式便器の洋式化を実施した。 ・国津体育館の和式便器の洋式化 男性1及び女性2 ・長瀬体育館の和式便器の洋式化 男性1及び女性2	国津・長瀬小体育館のトイレについて、和式便器の洋式化等の改修を行うことにより、当該施設が、市体育施設であり、災害時の避難所でもある、新型コロナウイルス感染症等の感染症対策として、糞を介してウイルスが拡散されるリスクの高い喫煙の課題解決を図ることができた。
53	単	名張小学校屋外トイレ改修事業		①新型コロナウイルス感染症等の感染症対策として、名張小学校屋外トイレについて、糞を介してウイルスが拡散されるリスクの高い和式便器の洋式化を行う。 ②トイレの洋式化に係る経費 ③工事経費 1,300千円 ④4名張市	I-1. マスク・消毒液等の確保	1,300	1,300			1,300	-	-	R3.2.24	R3.3.26	1,218,360		1,218,000			360			1,218,000	・トイレが洋式化されたことにより、衛生環境が向上し、新型コロナウイルス感染症等の感染防止に効果を得ている。	
54	単	地域拠点環境整備事業		①市民センターの活動再開へ向けての感染症対策の整備や災害時に避難所として安心・安全な機能を果たすための改修を行う。 ②改修工事に係る経費 ③積算が丘市民センター屋上防水改修工事 34,069千円 ④4名張市	I-1. マスク・消毒液等の確保	34,069	34,069			34,069	-	-	R2.6.22	R2.9.30	34,069,200		28,371,000	7,698,000		8,200			28,371,000	住民の拠点である市民センターの感染症対策の整備と避難所としての機能を果たすため、屋上防水改修と空調の整備を行った。	施設改修により、市民センターは感染症対策をしながら活動を再開。また、有事の際、住民による地域災害本部の拠点としての避難所運営が可能となった。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実績一覧

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	所管	【計画申請時】										【実績】												
				【事業の概要】 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	経済対策との関係	A 総事業費	B 補助対象事業費	C 国庫補助額	D 交付対象経費	E 起債予定額	F その他	G 補助対象外経費	事業始期	事業終期	令和2年度決算額（円）	国庫補助額（円）	交付金充当額【A】	起債額（円）	その他（円）	（繰越事業の場合）令和3年度決算見込額（円）	うち、交付金充当額【B】	交付金充当額合計【A】+【B】	事業実績	効果検証		
55	単	指定管理施設(文化・スポーツ関連)事業継続協力金		①指定管理施設(文化・スポーツ関連)が新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言等により、事業の休止を余儀なくされ、収入減となったことを受け、事業を再開し、継続できるよう支援することを目的に交付する協力金に係る経費 ②協力金交付に係る経費 ③文化施設 1施設×1,000千円 スポーツ施設 1施設×1,000千円、1施設×500千円 ④指定管理者	①-Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	2,500	2,500	-	2,500	-	-	-	R3.3.11	R3.3.31	2,500,000		2,500,000							2,500,000	指定管理施設(文化・スポーツ関連)事業継続協力金 ○文化施設 施設名称:名張市青少年センター 指定管理者:株式会社アドバンスコープ 交付金額:1,000,000円 ○スポーツ施設 施設名称:名張市総合体育館他 指定管理者:マツヤマSSKグループ 交付金額:1,000,000円 施設名称:名張市武道交流館いきいき 指定管理者:名張市体育協会 交付金額:500,000円	体育施設や文化施設の休業及び閉館時間の短縮等による使用制限の中、管理運営に大きく与えることができ、非常に効果的であった。
56	補	子ども・子育て支援交付金	内閣府	(子ども・子育て支援交付金) ①市内放課後児童クラブについて、新型コロナウイルス感染症対策に伴う小学校の臨時休業により、平日において午前中から閉所するために必要な経費を支援する。 ②平日の午前中閉所に係る各放課後児童クラブへの委託に係る経費 ③市内各クラブ 計12,946千円 ④各張市	①-Ⅰ-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	12,946	12,946	4,315	4,316	-	4,315	-	R2.4.20	R2.5.22	12,496,000		4,166,000			8,330,000			4,166,000	国・県・市 各1/3 【午前開所補助】 11,488千円 【障害児受入加算】 1,008千円 (11,488千円+1,008千円)×1/3=4,166千円	学校臨時休業中における放課後児童クラブの開所について、支援金を提出することで閉所するクラブもなく、午前中からの開所が可能になるクラブが増加した。(22クラブ中19クラブが午前中からの開所を実施)	
57	補	学校臨時休業対策費補助金	文科	(学校給食費返還等事業) ①新型コロナウイルス感染症対策による学校の臨時休業に伴う学校給食休止に係る学校給食事業者への損失補填について、補償金を支給する。 ②学校給食事業者への補償金交付に係る経費 ③令和2年3月分 3,373千円 ④学校給食事業者	①-Ⅰ-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	3,373	3,373	2,529	844	-	-	-	R2.5.29	R2.7.29	3,372,733	2,529,000	843,000			733		843,000	全国一斉の臨時休業を受け、学校給食をとりやめたことに伴い、納入事業者に対して損失補填を行った。 ・補填対象 5事業者 ・補填額 3,372,733円	急な臨時休業を受け、用意していた食材等を事業者が負担しなければならないところであったが、本事業により、損失を補填することができた。		
58	補	障害者総合支援事業費補助金	厚労	(特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービスへの支援等事業) ①新型コロナウイルス感染症対策に伴う小学校の臨時休業により、ニーズが増加する放課後等デイサービスの利用に係る利用者負担増について、補助を行う。 ②学校の臨時休業により利用が増加した放課後等デイサービスの利用に係る利用者負担増に対して支給する補助金交付に係る経費 ③補助額 45千円 ④放課後等デイサービス利用者	①-Ⅰ-1. マスク・消毒液等の確保	45	45	22	12	-	11	-												-	事業実績なし	